

令和 8 年 6 月 25 日

世界の作家や研究者らが文学にある核を語る
国際会議「トランス／ナショナルな核の表現と想像力」を開催

2026 年 6 月 27 日（土）・28 日（日）、本学が協賛・後援する国際会議「トランス／ナショナルな核の表現と想像力」が、東千田キャンパスにて開催されます。

本会議は、核や原爆をめぐる文学・文化表現を主題とする公開プログラムで、専門研究者に限らず、一般の方にも広く参加いただける内容となっています。

特別講演として、ベトナム先住民チャム出身の詩人インラサラによる「あの場所の核エネルギー——現実と夢のはざままで」、ならびに台湾作家・伊格言による「核の人新世——スロー・バイオレンスと文学」が予定されています。さらに、四つのセッションでは、レイシズムとコロニアリズム、アートと越境、汚染とエコロジー、連帯の可能性／不可能性といったテーマを軸に、報告と討論が行われます。

台湾、韓国、カナダ、アメリカ、ベトナム、日本から作家・研究者・批評家が集い、核をめぐる表現と想像力について多角的に議論します。

記

日時：令和 8 年 6 月 27 日（土）～28 日（日）

会場：広島大学東千田キャンパス（広島市中区東千田 1-1-89）

内容：

【特別講演】

『あの場所』の核エネルギー——現実と夢のはざままで

インラサラ氏（ベトナムの詩人）

「核の人新世——スロー・バイオレンスと文学」 伊格言氏（台湾の作家）

【セッション】

- ・レイシズムとコロニアリズム
- ・アートと越境
- ・汚染とエコロジー
- ・連帯の可能性／不可能性

【ラウンドテーブル】

核や原爆をめぐる文学・文化表現の意義や課題について、登壇者と参加者が議論

※詳細は添付チラシをご参照ください

対象：どなたでもご参加いただけます

定員：140人

使用言語：原則として日本語

参加費：無料（レセプションは有料）

取材について：取材をご希望の際は、以下のお問い合わせ先へご連絡をお願いいたします。

【お問い合わせ先】

大学院人間社会科学研究科 准教授 松永 京子 TEL:082-424-6680

国際会議

トランス／ナショナルな

核の表現と想像力

2026. 6/27(土)・28(日)

9:30~20:45

9:00~17:00

参加無料

一般参加歓迎

広島大学 東千田キャンパス

(広島県広島市中区東千田町1-1-89)

6/27(土) TIME TABLE

午前の部／総合校舎 A棟402

- ▶ 9:30 開会の辞 松永 京子 (広島大学)
- ▶ 9:50 - 11:10 【特別講演1】 司会／通訳: 吉井 美知子 (沖縄大学)
 - インラサラ (詩人、ベトナム) 「あの場所」の核エネルギー
— 現実と夢のはざま
- ▶ 11:30 - 12:50 【特別講演2】 司会／通訳: 李文茹 (淡江大学)
 - 伊格言 (作家／詩人、台湾) 核の人新世
— スロー・バイオレンスと文学

午後の部／慎思棟5F 地域連携フロア SENDA LAB

- ▶ 14:20 - 16:30 【セッション① レイジズムとコロナリズム】
司会: 齋藤 祥平 (明治大学) ディスカッション: 齋藤 一 (筑波大学)
 - 村上 陽子 (沖縄国際大学) 沖縄と核をめぐる文学的表現
 - 中村 平 (広島大学) 日本人は原爆投下と被爆援護の非ケアを
核レイジズム／コロナリズムとなぜ認識しないのか
 - ロバート・ジェイコブズ (広島市立大学名誉教授)
笑い事ではない放射能 — 核最前線におけるユーモアのレジリエンス
- ▶ 16:50 - 19:00 【セッション② アートと越境】
司会: 岡村 幸宣 (原爆の図丸木美術館学芸員)
ディスカッション: 東 琢磨 (音楽・文化批評家)
 - 中野 和典 (福岡大学) 教科書と「原爆詩」— 石垣りん「挨拶」を中心に
 - 小杉 世 (大阪大学) 光のアートと記憶
— フィオナ・アムゼンの広島・長崎と太平洋のかけはし
 - 一谷 智子 (西南学院大学) 「多方向的記憶」とアート
— オーストラリアにおける「原爆の図」の受容をめぐる
- ▶ 19:15 - 20:45 レセプション (慎思棟5F地域連携フロア SENDA LAB)

6/28(日) TIME TABLE

午前の部／慎思棟5F 地域連携フロア SENDA LAB

- ▶ 9:00 - 11:40 【セッション③ 汚染とエコロジー】
司会: 高野 吾朗 (佐賀大学) ディスカッション: 結城 正美 (青山学院大学)
 - 松永 京子 (広島大学) 生態学的流れとして(原爆)を想像する
— レスリー・シルコウ「儀式」と小田実[HIROSHIMA]再考
 - 李文茹 (淡江大学) 「核」と「食」から読むシャマン・ラボガン文学
— 「大海に生きる夢」をめぐる
 - マイケル・ゴーマン (広島市立大学) アクティヴィズムのアートと国境
を超える水域 — 米加国境沿いの環境脅威への抵抗

午後の部／慎思棟5F 地域連携フロア SENDA LAB

- ▶ 13:10 - 15:20 【セッション④ 連帯の可能性／不可能性】
司会: 溝渕 園子 (広島大学) ディスカッション: 中谷 いづみ (二松学舎大学)
 - 和田 崇 (九州大学) 〈日本の漁師〉と〈マグロ〉の物語
— 非当事者による物語化の可能／不可能性
 - 川口 隆行 (広島大学) 80年代反核運動と「第三世界」
 - 沈 正明 (朝鮮大学) 原爆の記憶を書く・読むことと「境界」の問題
- ▶ 15:40 - 17:00 【ラウンドテーブル】
司会: 松永 京子 (広島大学) 総評: 米山 リサ (トロント大学)
コメンテーター: 齋藤 祥平 (明治大学) 岡村 幸宣 (原爆の図丸木美術館学芸員)
高野 吾朗 (佐賀大学) 溝渕 園子 (広島大学)
- ▶ 17:00 開会の挨拶 川口 隆行 (広島大学)

参加申し込み受付中!

参加を希望される方は、2026年6月17日(水)までに、
下記URLまたはQRコードよりお申し込みください。

<https://forms.gle/qMtxdNeUv2UEEetH9>

- 使用言語:原則として日本語
(日本語以外の発表には通訳・翻訳補助予定)
- 会場定員に達した場合、参加をお断りする場合があります。
- レセプションは有料です。

◎事前申込要



【主催】科学研究費(基盤B)「トランス／ナショナルな視座からの核・原爆の(表現)の研究」
原爆文学研究会(第78回)

【協賛】広島大学文学部・広島大学大学院人間社会科学研究所人文学プログラム
広島大学比較日本文化学プロジェクト研究センター

【後援】広島大学大学院人間社会科学研究所 *専用の駐車場はご用意しておりません。公共交通機関等をご利用ください。 お問い合わせ先▶ 松永 kyokom@hiroshima-u.ac.jp